

電 設 新 聞

発行所
 社団法人
福島県電設業協会
 松崎 勉
 〒960-8114
 福島市松浪町9-6
 (福島県電設業協会館)
 電話 (024)533-6226
 編集印刷部 福島タイムズ社
 福島市御山字井戸上64-5

TOSHIBA

明るく、
 スリムで、
 長寿命。



東芝薄型照明器具
ネオスリムV
 東芝ライテック株式会社
 郡山営業所 TEL.(0249)22-5511

第48回 通常総会

電気設備の独立性堅持

災害復旧組織の確立図る

当協会は五月二十日、福島市のホテル辰巳屋で第四十八回通常総会を開き、電気設備工事の独立性を堅持するため分離発注を促進させることにも、災害復旧組織の確立や技能五輪全国大会への参加と支援などを新規に盛り込んだ平成十年度事業計画を採択した。また、総会に引き続き(株)日本電設工業協会の渋谷景三専務理事を迎えて記念講演会を行い、電設産業ビジョンや中央建設業審議会の報告を踏まえた電設業界の動向について理解を深めた。

事業量拡大が第一

午後三時に佐藤春雄副会長が開会を告げた総会では、議事が今後の振興に資する方策を打ち出す要であり、分離発注推進運動を努めながら電気設備工事の独立性を主張し、技術力向上を図り「提案ができる技術集団」を目指したい」と協会の姿勢を示した。



事業計画では、重点目標に

社団法人 福島県電設業協会 第48回 通常総会



「提案する技術集団」を強調する松崎会長

①事業量拡大確保対策の推進
 ②優れた施工技術・施工能力を生かす常態に挑戦する技術集団への推進
 ③会員企業の後継者育成と社員の資質向上
 ④若年社員(エレッサ)の育成
 ⑤地域に対する貢献(災害防止)

の対応、災害復旧組織の確立、建設関係機関・友好団体の連携強化をあげてい

信賴される技術集団
 120人が参加し懇親会
 功労者らの表彰行



菊田収入役 斎藤県議会議長 渡邊出納長

する研究・指導事業として①講習会・研修会・講演会の開催②工事施工体験発表会・現場研修会の開催③技能五輪全国大会への参加と支援④各種高等技術専門校等の積極的活用が盛り込まれた。さらに、県及び関係団体並びに関連企業との協議・懇談、県電気工事工業組合との連絡協議、機関紙「電設新聞」及び会員名簿、各種刊行物の発行配布、福利厚生事業の推進、会員相互の親睦に関する行事の開催と各支部間の協調一等も推進することが了承された。

第四十八回通常総会の開催にあたり、一言、ごあいさつ申し上げます。
 会員の皆様もご存じの通り、電気設備工事業界を取り巻く環境は、国の財政構造改革による官需の抑制、長引く不況による民間設備投資の低迷など、受注不振に加えて、経済の先行き不透明感が容易に払拭できないため、資金調達にも難しさが漂っております。先に決定しました国の緊急経済対策が速やかに実施され、景気回復のきっかけとなることを切に願う次第であります。

さて、本協会は、昭和三十一年の発足以来、今年で四十一年目を迎えました。

現在、協会が直面している最大の課題は、事業量の確保であり、とりわけ公共工事の分野における分離発注の実施であります。国、県におかれましては従来から設備の分離発注を実施されておられ、その姿勢に変化はありませんが、公団事業

独立性を確保し、業界の基盤を構築したわけであり、す。しかし、最近では、中央大手ゼネコンの中に、設備一括発注を行うことで工事全体のコストを抑制しようとする向きもあり、こうした

実施を求め、ご理解をいただき、今後も様々な機会をとらえて、協会単独ばかりでなく友好団体や全団団体とも連携し、分離発注運動を拡大し、ひとつではあるまいと、情報通信分野の高度化への対応はもとより、環境問題に対する関心の高まりから、太陽光発電などグリーンな電気エネルギーの利用と共に、一層の省エネが叫ばれていることから、県民に信頼される技術集団として、これら時代の要請に前向きに取り組む、新たな事業の創出に必要であると考えております。

ものと考えられますので、協会としても技術提案をしていくための体制整備を真剣に検討する時期に入ったと認識しております。

今後は、情報通信分野の高度化への対応はもとより、環境問題に対する関心の高まりから、太陽光発電などグリーンな電気エネルギーの利用と共に、一層の省エネが叫ばれていることから、県民に信頼される技術集団として、これら時代の要請に前向きに取り組む、新たな事業の創出に必要であると考えております。

景気に明るさが見えず新規事業への取り組みを控える傾向は、ますます強まる

分 離 発 注 の 促 進 に 努 力

団や町村においては、コスト削減や監理技術者の不足から一括発注の実施も目立っております。

本協会は、昨年、全国組織である社団法人日本電設工業協会に加盟し本部及び東北支部とも歩調を合わせ、発注機関に対し改めて電気設備工事の分離発注の

会長 松崎 勉

【功労者表彰】(退任役員) 中島幸一(白河支部・福島電設) 萩生田健二(会津支部・萩生田電設) 友部嘉夫(いわき支部・小名浜電設)

【同】(優良工事) 澤田一郎(いわき支部・大和電設工業) 大石由延(郡山支部・太陽電設) 梅津信男(福島支部・ユアテック福島支社)

National 松下電工

新登場! カンタン結線の カンタッチアロー盤。

- 電線を差し込むだけで施工時間は従来の約1/2(当社従来品比)。ネジなしカンタン結線「連結端子」を内蔵。
- ワンタッチで着脱できる「プラグアダプタ」付。
- 充電部を隠ぺいした安全性の高いカバー構造。

業界初の
ネジなし!

○「カンタッチアロー盤」に関する資料のご請求は、〒963-8024 郡山市朝日2丁目5番15号 松下電工・福島営業所 TEL.(0249)39-7731.FAX(0249)39-4777まで。※二次個「連結端子内蔵」、一次個「プラグアダプタ」付のプレーカを搭載した分電盤で業界初。平成10年4月現在、当社調べ。快適を科学します

技術集団をアピール

第13回 工事施工体験発表会



県内各地から200人が出席した発表会

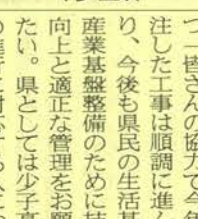
現場の第一線に立つ技術者の資質向上を図るため毎年実施している本協会の第13回工事施工体験発表会は、六月九日午後一時半から福島市の県青少年会館で開催され、来賓、会員各社の現場代理人ら約二百人が出席した。

三瓶良孝副会長が、開会の言葉の中で、新エネルギーへ対応する電気設備など学ぶべきことは多く、発注機関の期待に沿うためにも努力していかなくてはならないと出席者に呼びかけたのに続き、松



松崎会長

崎勉会長が「電気設備工事業界を取り巻く環境は、大手ゼネコンなどの不良債権処理のしわ寄せ、金融機関の貸し渋り等、大変厳しいものとなっている。一方、技術革新により設備の高度化・複雑化が進み、より高い技術力が求められているため、我々は大手企業にも対抗できる体制づくりに努める必要がある。構造改善の流れの中で、VEやCM方式の採用、コスト削減への動きなど大きな変化があり、これをとらえながら魅力ある業界として発展するためにも知恵を出し合っていきたい。本日の発表会は、個々の技術者の資質向上が目的であり、発表される皆さんは大変な苦勞をされたことと思う。技術者集団である本協会をアピールする絶好のチャンスであり、堂々の発表に期待する」とあいさつした。



叶多主幹

引き続き、来賓を代表して県土木部都市局営繕課の叶多清造主幹兼課長補佐があいさつ。「皆さんの協力で今年度発注した工事は順調に進んでおり、今後も県民の生活基盤・産業基盤整備のために技術力向上と適正な管理をお願いしたい。県としては少子高齢化の進行に対応する人にやさしいまちづくりをはじめ、安全で安心できる建築物の整備、建築景観の整備、環境と共生する建築の創造、コスト削減対策等、時代の課題やニーズを的確にとらえて施策の展開を進めていく。協会におかれ

ていると言った指摘や(株)日本設計家協会と大手ゼネコンによる「一括化」への合意などからも、一括発注への流れが強まっており、我々としては分離発注を理論的に説明するためにライフサイクルコストを安くできることを証明しなければならない。これまでの調査・研究により建築物のライフサイクルコストは設計と施工に二五％、維持管理(全ての人件費も含む)に七五％が費やされていることが明らかになっており、これを踏まえた技術理論の確立とともに「トータルコストで良質のもの」を適正な価格で「の基本目標」に向けてLCC(ライフ・

サイクル・コスト)手法の確立による建築物の総合的な経済性を施主に提案することが必要だ」と述べ、日本電設工業協会の取り組みを紹介した。そして「仮に発注機関に電気設備技術者がいなくとも設計段階で対処できれば分離発注は可能であり、各発注者の理解を求めなくてはならない」と強調した。

また、設計・施工の迅速化を図るため、特別委員会で行っている互換可能なCADソフトウェアを足掛かりに、より効率的な設計・積算システムをつくりあげ内部の情報処理を促進していく。協会におかれ

ては、技術力向上や女性技術者の育成など着実に成果を上げられているが、今後ともさらなる努力をお願いしたい」と述べた。

このあと、県の土木部、県北・いわき両建設事務所、福島市、郡山市、いわき市、会津若松市から出席した来賓を介して発表に入った。

今回の発表会では、いわき支部會川電機(専務取締役の大槻芳雄氏が「コンテナヤード施工にあたって」、会津支部の(株)合電機課長の菅山由一氏が「史跡若松城跡施設整備事業に携わって」、相双支部の早川電機工業(株)内線部長の太田正秀氏が相馬市総合福祉センター消防検査下準備について」と題し施工体験を発表し、終了後に出席者全員で質疑応答を行った。

最後に叶多主幹が、「各発注者の資料は分かりやすくよくできていた」と感想を述べるとともに、三人の発表者のテーマに沿って講評を行い日程を終了した。

(各発表内容は次号より掲載)

三氏が貴重な体験披露



総会に引き続き行われた記念講演会、講師に(株)日本電設工業協会の渋谷景三専務理事「動向について」と題した講演

の中で、平成八年三月に最終答申が出された電設産業ビジョン、中央建設業審議会の答申、建設業審議会の答申、建設に基づく経営審査事項の見直しなど、建設産業における構造変化を説明しながら、設備一括発注が行われる背景にも触れ、ゼネコンの不良債権処理のために行われてきた一括発注に強い警戒感を表した。この中で「昨今、発注機関が分離発注を行った

理由が分らないままにLCC(ライフ・

コスト)手法の確立による建築物の総合的な経済性を施主に提案することが必要だ」と述べ、日本電設工業協会の取り組みを紹介した。そして「仮に発注機関に電気設備技術者がいなくとも設計段階で対処できれば分離発注は可能であり、各発注者の理解を求めなくてはならない」と強調した。

また、設計・施工の迅速化を図るため、特別委員会で行っている互換可能なCADソフトウェアを足掛かりに、より効率的な設計・積算システムをつくりあげ内部の情報処理を促進していく。協会におかれ

ては、技術力向上や女性技術者の育成など着実に成果を上げられているが、今後ともさらなる努力をお願いしたい」と述べた。

このほか、今年二月四日に

設計家協会と大手ゼネコンによる「一括化」への合意などからも、一括発注への流れが強まっており、我々としては分離発注を理論的に説明するためにライフサイクルコストを安くできることを証明しなければならない。これまでの調査・研究により建築物のライフサイクルコストは設計と

施工に二五％、維持管理(全ての人件費も含む)に七五％が費やされていることが明らかになっており、これを踏まえた技術理論の確立とともに「トータルコストで良質のもの」を適正な価格で「の基本目標」に向けてLCC(ライフ・

サイクル・コスト)手法の確立による建築物の総合的な経済性を施主に提案することが必要だ」と述べ、日本電設工業協会の取り組みを紹介した。そして「仮に発注機関に電気設備技術者がいなくとも設計段階で対処できれば分離発注は可能であり、各発注者の理解を求めなくてはならない」と強調した。

また、設計・施工の迅速化を図るため、特別委員会で行っている互換可能なCADソフトウェアを足掛かりに、より効率的な設計・積算システムをつくりあげ内部の情報処理を促進していく。協会におかれ

ては、技術力向上や女性技術者の育成など着実に成果を上げられているが、今後ともさらなる努力をお願いしたい」と述べた。

このほか、今年二月四日に

示された中央建設業審議会建議に基づく多様な入札契約制度の導入について、コスト削減を図るために採用されているVE制度は、「安くできた結果」が将来の予定価格に反映される可能性や各社のノウハウが流失するという不安があり、対応を検討する必要があること。さらに、(株)日本建築家協会建設業基本問題分科会が行っているCMガイドラインづくりにも言及し、これができるよう関係方面に働きかけるとともに、経営審査における点数評価でも関係当局に對し要望を続けることを報告した。

紹介者の鷺いわき 支部理事と大槻氏

紹介者の水沼 社長と菅山氏

紹介者の八巻相双 支部理事と太田氏

社会のニーズに応え 省エネに貢献する... **Aichi**

各種トランスの **愛知電機**
高圧スイッチの **大垣電機**

(発売元)
愛知電機商事(株) 仙台営業所
仙台市青葉区宮町1丁目1-20
TEL 022-221-5576

三菱照明器具・換気扇

株式会社三菱電機ライフテック東北

| | |
|-------|------------------|
| 福島支店 | TEL(024)534-7121 |
| 郡山支店 | TEL(0249)59-6060 |
| いわき支店 | TEL(0246)26-0211 |
| 会津支店 | TEL(0242)27-4425 |
| 原町営業所 | TEL(0244)22-8821 |

ディーゼル発電機 ガスタービン
コージェネレーションシステム

東北ヤンマー株式会社
いわき支店

〒971-8124 福島県いわき市小名浜住吉字飯塚四四一
TEL(0246)581-5811
FAX(0246)581-5688

地域産業の振興と明るく豊かな社会づくりを目指しています。

OKADA

電気設備機器と住宅設備機器のコーディネーター

岡田電気産業株式会社

本社 〒979-3131福島県いわき市平谷川瀬字明治町27
TEL(0246)25-6111 FAX25-6101

営業所

| | |
|-----|---------------------|
| 白河 | TEL(0248)27-3385(代) |
| 須賀川 | TEL(0248)72-7136(代) |
| 賀茂郡 | TEL(0249)23-3298(代) |
| 山形 | TEL(0249)39-3081(代) |
| 郡山 | TEL(0242)28-2155(代) |
| 会津 | TEL(0244)22-5105(代) |
| 原 | TEL(0244)35-1234(代) |
| 相馬 | TEL(024)546-3700(代) |
| 福島 | TEL(024)553-1181(代) |
| いわき | TEL(0246)28-6111(代) |
| 勿来 | TEL(0246)62-3122(代) |

茨城県内・千葉県内・埼玉県内・新潟県内 20ヶ所
住設建材営業所 福島県内 5ヶ所

松崎氏が知事賞に

今年度の各種功労者表彰

五月三日の憲法記念日にち 知事表彰式が五月七日に県庁 などで平成十年度各種功労者 正庁で行われ、当協会の松崎



知事表彰の伝達を受ける松崎氏

勉会長も建設産業功労者として表彰を受けた。式では、佐藤知事が地方自治や教育など十七分野で活躍している四十六人と四団体の代表に表彰状を手渡した後、「それぞれの分野で顕著な功績を残された皆さんは、県民の鏡であり心から敬意を表する。今後とも健康に留意され、県土発展に協力していただきたい」と式辞を述べた。続いて斎藤卓夫県議会議長、松本充県町村会長らが祝辞を述べ、受賞者を労った。

構造改善週間

宗像氏(ソエイ)らを顕彰

新宅氏を講師に記念講演会

松崎氏は、いわき市出身で昭和十年生まれ。二十九年に会津若松市に本社があった大和電気工事(株)に入社、昭和三十九年に独立し大和電気工業(株)を創立、幾多の困難を乗り越

平成十年度建設産業構造改善推進週間の一環として六月四日、記念講演会と優秀施工者表彰式及び優秀施工者表彰式が福島市のホテル辰巳屋で行われた。

午前十時から行われた記念講演会では建設省建設経済局建設課の副課長新宅浩二氏が「建設業をめぐって最近の諸情勢について」と題して講演を行い、現在、建設業に



関係者ら多数が出席した記念講演会



宗像文雄氏



滝田 博氏

一方、構造改善については、建設投資が低迷する中で建設業者数が増加していることと公共工事の品質を確保しつつコストを削減することが強く求められていること、市場の国際化により競争が激化していること等の構造変化に直面しており、技術力による市場競争の促進、新たな企業経営の展開、適正な競争環境整備の促進が重要である。宗像氏は、当協会郡山支部の宗像文雄氏(ソエイ)と滝田博氏(ソエイ)が、今年度の優秀施工者として(株)建設産業団体連合会会長顕彰を受賞した。

技術の質的向上を

日本電設工業協会が総会

(社)日本電設工業協会(小牧正二郎会長)の第四十八回通常総会が六月八日に東京都千代田区飯田橋のホテルグラン ドパレスで開かれ、本協会から松崎勉会長が出席した。会議では、平成九年度会務報告・収支決算、平成十年度事業計画案・収支予算案等を審議し全て原案通り承認した。また、五十周年記念講演会も催され評議長の西野逸氏が「時代の読み方」を題材に今後の展望を述べた。

総会で決定した事業計画は次の通り。(抜粋)
【政策に関する事項】
▽電気設備工事業界の地位向上に向けての方策検討▽分

【労務に関する事項】
▽優秀な人材の確保と育成に
関する検討
▽若年技術者確保と育成に
関する検討▽若年技能者の入
職促進と育成に関する検討▽
総括電気工事士(基幹技能者)
制度の普及促進▽労働条件・
待遇の改善策に関する検討▽
その他労務問題に関する検討

【技術に関する事項】
▽電気設備及び施工技術の質
の向上に関する調査研究、
普及を行う
▽電気設備及び施工標準
化、規格、基準等に関する調
査研究▽施工管理の効率化等
に関する調査研究▽電気設備
工事費の積算に関する調査研
究▽防災設備に関する調査研
究▽電気設備データベースに
関する調査研究

日本電設工業協会東北支部
新年度事業計画決める
仙台市で第41回通常総会

(社)日本電設工業協会東北支部(東北地区協議会)の第四十一回通常総会は五月十一日、仙台市の仙台東急ホテルで開催され、本協会から松崎勉会長と秋吉政則専務理事が出席した。

議事では平成九年度会務報告・収支決算、平成十年度事業計画案・収支予算案等を審議し、全て原案通り決定した。

決定した事業計画は次の通り。(抜粋)
【労務、安全に関する事項】
▽労働条件を改善するため
の改善策を調査研究し、会員
に普及啓蒙する▽本支部の要請
を受けて「大学生による現場
見学会を実施する」▽労働災
害の絶滅を図るため、調査研
究を行う

【技術に関する事項】
▽施工技術の向上を図るた
め本支部講習会メニューを取り
入れて各種講習会を開催する
▽「トラブル防止例集」(平
成十年度改訂版)の活用を行
う▽技術に関する関係団体と
の連携・協力を図り情報の交
換を行う

【資材に関する事項】
▽電気資材の製造業者及び
販売業者との連携を図り、情
報の交換を行う▽電気資材価
格と供給に関する情報を収集
し会員に広報する▽関係団体
との連携を密にし情報収集を
行う▽盤メーカーとの懇談会
を開催し施工、安全管理を支
援する

提案から、設計・施工、メンテまで
National/Panasonic
取扱い機器
● 放送設備 ● ホール音響設備
● 大型映像 ● コンピューター
● ITVカメラ設備 ● 情報通信機器

東北松下システム (株)
福島支店 郡山市図景2丁目1番11号
TEL 0249-23-1710
福島営業所 福島市西中央3丁目2番地の1
TEL 024-535-6116
会津営業所 会津若松市町北町大字始字深町10番地
TEL 0242-25-2776

高断熱・高気密住宅には、
「全電化住宅」が最適です。
キッチン=クッキングヒーター・安全、清潔、理想のキッチン
暖房=蓄熱式暖房・空気を汚さず24時間暖房
給湯=電気温水器・安全、静か、お湯がたっぷり

お問い合わせは、お近くの
東北電力へ

技術と信用を誇る
電気、機械の総合メーカー!!
DAIZEN
(販売元) 大然総業株式会社
(製造元) 大全電機株式会社
〒983 仙台市若林区卸町東五丁目7番18号
TEL(022) 288-0701 FAX(022) 288-0705

電線・配線器具・照明器具・開閉器・配電機器
電線管及び付属品・電設資材一式卸

戸部電材株式会社
仙台市若林区土樋97 TEL(022)225-7511(代)

- 福島営業所/福島市瀬上町字桜町3丁目12-3 ☎(024)553-8551(代)
- 郡山営業所/郡山市大槻下町東52 ☎(0249)61-6667(代)
- いわき営業所/いわき市好間町下好間鬼越47-1 ☎(0246)36-5533(代)
- 原町営業所/原町市北原字本屋敷153 ☎(0244)23-6106(代)
- 相馬営業所/相馬市権木字北原104-1 ☎(0244)33-6350(代)

春と秋、夕暮れと夜。
1つのランプが2つの光色を持ちました。
ツインアーク
1つの外球・ハル内に水銀ランプと高圧ナトリウムランプの
2つの発光管を収めた2光色発光形HIDランプ「ツインアーク」誕生

EYE 岩崎電気株式会社
郡山営業所・☎(0249)61-2292 FAX 61-2265
いわき事務所・☎(0246)23-1386 FAX 22-3716

